

研究課題名	対象となる方	研究目的	研究期間	研究に用いる情報	実施責任者
日本整形外科学会症例レジストリー(JOANR)構築に関する研究	2020年4月～2030年3月の間に岡山市立市民病院 整形外科において、運動器の手術を受けられた方(人工関節手術、関節鏡視下手術、脊椎手術、骨折治療の手術など)	運動器疾患の手術に関する大規模データベースを構築すること。整形外科が扱う運動器疾患は、小児から高齢者まで幅広い方々を悩ませ、多くの方の健康寿命を損なう大きな原因となっている。その治療である手術の件数も年々増加しているが、その全国規模の全容を捉えられるデータベースがまだない。全国の整形外科で情報を共有できるシステムを構築することは、有効な治療法や手術の安全性を科学的に確立するために大変有用である。	2020年4月1日～2030年3月31日	匿名化したID、年齢、性別、ハッシュ値(氏名、性別、生年月日などから算出される文字列)、疾患情報、手術情報、手術・麻酔時間、手術日、術者情報、看護師数、技師数、治療成績、使用した器材・インプラント など	臼井 正明
DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業	2017年4月～2018年3月に当院で心臓疾患の診療を受けられた方のデータ	日本国内における心臓疾患診療実態調査により大規模なデータベースを構築し、医療の質の向上に役立てるため。	倫理委員会承認後～2023年3月31日	1)施設概要 2)検査や治療の実施件数など	河合 勇介
抗菌薬処方に曜日を与える影響	2019年4月1日～2019年9月30日の間に当院において抗菌薬治療を受けられた方	薬剤耐性菌が世界中で増加し、大きな問題となっている。薬剤耐性菌問題を解決するためには、抗菌薬の適正使用を促す活動が重要である。私たちは抗菌薬処方動向に平日・休日といった社会的ファクターが大きく影響していることを、普段の臨床経験から感じている。本研究では、抗菌薬の投与開始・終了に与える曜日の影響について検討することを目的としている。	倫理委員会承認後～2020年12月31日	・年齢、性別、入院日、入院経路(予定入院・予定外入院・救急入院)、入院病棟(個人特定不可) ・抗菌薬の種類、また開始日及び終了日	梶田 志保
血液培養陽性患者の臨床的背景および治療状況の調査	2010年1月1日～2019年3月31日の間に血液培養で陽性になった全患者	血液培養陽性患者を対象に他施設観察後ろ向き研究を実施することで、血液培養陽性患者の臨床的背景を検討し、敗血症におけるリスク評価や治療マネジメントの改善に寄与することを目的とする。	倫理委員会承認後～2023年3月31日	1)患者基本情報(個人特定不可) 2)血液検査結果 3)微生物検査結果 4)予後情報	岸田 雅之
DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業	2017年4月～2018年3月に当院で心臓疾患の診療を受けられた方のデータ	日本国内における心臓疾患診療実態調査により大規模なデータベースを構築し、医療の質の向上に役立てるため。	倫理委員会承認後～2023年3月31日	1)施設概要 2)検査や治療の実施件数など	河合 勇介